

令和8年度 大阪府立高槻支援学校 第1回 学校運営協議会議事録

校名	府立 高槻支援学校
校長名	赤木 瑞枝

開催日時	令和8年6月1日(月) 10:00~11:00
開催場所	本校図書室
出席者(委員)	早野 眞美(会長)
	岡田 由紀、重永 晃太郎、登田 悠紀、成瀬 修、藤原 恵
出席者(学校・事務局)	赤木校長、東教頭、東郷教頭、岡田首席、奥平首席
傍聴者	なし
協議資料	次第、学校運営協議会実施要項、令和8年度学校経営計画及び学校評価
備考	

議事等(次第順)

- 1 校長あいさつ
- 2 学校運営協議会実施要項確認
- 3 授業見学
- 4 自己紹介(協議会委員・事務局員)
- 5 令和8年度学校経営計画について
- 6 質疑・協議
- 7 次回の案内

協議内容・承認事項等(意見の概要)

上記のとおり報告等をおこない、各委員から次のような意見等をいただいた。

⑤学校経営計画について(学校長より)

〈中期目標〉

1. スクールワイドPBS(ポジティブ行動支援)に取り組む。
4. これまで教員の専門性向上の中に「働き方改革」が入っていたが、今年度は別立てとして取り組む。

〈本年度の取り組み内容〉

1.
 - (1)SWPBS(スクールワイドPBS)はチームを作り、外部講師の協力を得ながら取り組みを進める。
 - (2)昨年度末に保護者と一緒に防災引継ぎ訓練を実施。今年度は高槻市と協議し福祉避難所の協定に向けた取り組みを進める。
 - (3)教職員間の連携をはかる取り組みとして、支援カフェを開催予定。
2.
 - (1)ICT機器の使用についてのアンケートの肯定率が保護者と教員で差があるが、保護者の方に見ていただける場面が限られていることがあると思われる。黒板の代わりとなる掲示装置としてだけでなく、児童生徒個々にタブレット端末等を使用するという活用方法もある。
 - (3)引き続きSWPBSや授業づくりに関わる研修等を予定。
3.
 - (1)進路先で「合わない」と感じ離職される方もいる。その場合も次に向かってそれぞれに合ったところを見つけられるように関係機関と連携していくというところで、1年後の動向を見守るという項目を新たに入れている。
4.
 - (4)DXチームによるICT機器の活用による取り組みなど小さな改革を進め、働きやすい環境づくりをしていく。

→令和8年度学校経営計画について承認をいただいた。

⑥各委員より(質問、ご意見等)

- ・児童生徒の人権というところを最大の重点目標としているとのことで、学校としての意気込みを感じる。
- ・働き方改革についてデジタル技術による効率化というところがある一方で、そのデジタル化導入に関わる労力はとても大きい。みんなで共有して実行していただきたい。
- ・教室に置いてあるヘルメットが子どもたちの目に入る場所においてあった。いつも目に入っているということが、非常時にも大切。
- ・学校行事である運動会の全校開催について、少し年上の生徒の姿を見られるというのはとても良いことだと感じた。
- ・安全、安心の取り組みということで、卒業生の進路先である企業等でも避難訓練等是一个の課題である。障がいのある方の避難については、固有の訓練が必要だと考えている。会社以外の場所、通勤途上や自宅にいる時の被災も考えて、社員の住所の地図等の準備をしている。
- ・企業と学校で、進路指導という部分でいろいろな形の連携ができれば良い。

次回の会議日程

日時	令和8年11月13日(金)10:00~
会場	本校図書室